



給電機能まるわかりGUIDE

クルマは、
もしものときの
電源になる。

災害が増える今、防災をもっと身近にしたい。

だから、いつものクルマを、もしもの備えに。

クルマが電源になれば、

突然の停電で、日常生活がストップするリスクも少なくできます。

さらに、クルマとおうちを接続すれば、在宅避難も可能に。

災害は、なくせない。でも備えることはできる。

いつものクルマで備える安心、広がっています。



INDEX

給電のメリット／給電機能 設定車	P.1
給電機能の種類	P.2
用語集／Q&A	P.3
給電機能の使い方	P.4
安全にお使いいただく上での注意事項	P.6

POINT 01

約5日*1、電気が使える。
(プリウス2.0Lの場合。プリウス1.8Lの場合は約4.5日)
突然の停電でも、日常を奪われない。

消費電力が400Wなら約5日分の電力供給が可能*2。
長時間停電が少ない日本*3では、大きな安心になります。

<p>スマホなら</p>  <p>約4,800回分*4 満充電できます。</p>	<p>LED電球なら</p>  <p>約6,900時間分*5</p>	<p>電気ストーブなら</p>  <p>約64時間分*6</p>	<p>IH炊飯器なら</p>  <p>約40時間分*7</p>
--	--	---	---

POINT 02

停電中でも、灯りも食事も情報も。
1500W使える*8*9。

停電時に、灯りはもちろん、食事・情報を同時に得ることも可能。さらに暑さや寒さもしのげます。
クルマが、家族みんなの停電時の生活を支えます。

合計1500W以内なら、複数の電気製品*8*9を同時に使えます。

IH炊飯器 1200W	+	扇風機 30W	+	電気スタンド 20W	+	スマートフォン 10W	=	同時使用合計 1260W 給電機能 1500W
-------------	---	---------	---	------------	---	-------------	---	--

POINT 03

クルマと家をつないで
停電時でも電気を使える家に。

クルマde給電*10
新築でもリフォームでも外観を大きく損なわず、
災害時にご自宅での安全が確保できる場合には、
ストレスの少ない在宅避難も可能になります。

「クルマde給電」は●●の付いたクルマが対象

クルマde給電はトヨタホーム側の商品です



POINT 04

















さらに、移動する電源として
アウトドアが
もっと楽しくなる。
















使い方は、非常時だけにとどまりません。
山・川・海など、あらゆる場所で
クルマが電源になるので
レジャーの楽しみ方がグンと広がります。

AC外部給電システム(ヴィークルパワーコネクタ)*8を利用

*1.プリウス(2.0L)が外部供給できる電力量(ガソリン満タン時):約48kWh(=約48,000Wh)。一般家庭が日常使用する電力量:1日あたり10kWh(平均消費電力400W)として試算した場合。*2.プリウス(2.0L)の電力供給時間(ガソリン満タン/消費電力400W時)は約5日です。電力供給時間は車種によって異なります。一般家庭が日常使用する電力量:1日あたり10kWh(家庭での1時間あたりの消費電力400W)として試算した場合。*3.1軒当たりの年間停電時間約55分(2011-2018年の平均値)電気事業連合会の資料を基に算出。*4.プリウス(2.0L)が外部供給できる電力量(ガソリン満タン時):約48kWh(=約48,000Wh)として試算した場合、スマートフォン1台をフル充電するために必要な電力量:10W×1h=10Wh。フル充電できるスマートフォン:48,000Wh/10Wh=約4,800回で計算。*5.プリウス(2.0L)が外部供給できる電力量(ガソリン満タン時):約48kWh(=約48,000Wh)として試算した場合、LED電球1個を1時間点灯させるために必要な電力量:6.9W×1h=6.9Wh。LED電球を点灯できる時間:48,000Wh/6.9Wh=約6,956時間(約6,900時間)で計算。*6.プリウス(2.0L)が外部供給できる電力量(ガソリン満タン時):約48kWh(=約48,000Wh)として試算した場合、電気ストーブを1時間使用するために必要な電力量:750W×1h=750Wh。電気ストーブを使用できる時間:48,000Wh/750Wh=64時間(約64時間)で計算。*7.プリウス(2.0L)が外部供給できる電力量(ガソリン満タン時):約48kWh(=約48,000Wh)として試算した場合、IH炊飯器を1時間使用するために必要な電力量:1,200W×1h=1,200Wh。炊飯器を使用できる時間:48,000Wh/1,200Wh=40時間(約40時間)で計算。*8.詳しくはP5「安全にお使いいただくための注意事項」をご確認ください。*9.電気製品の消費電力は一般的な目安です。製品の種類や大きさなどにより消費電力は大きく異なる場合があります。また、立ち上がり時などは瞬間的に電力を大量に消費します。*10.「クルマde給電」はトヨタホームの非常時給電システム。住まい側に設置して、停電時にクルマと住まいを外部電源接続ケーブルでつなぐことにより、冷蔵庫や照明など、生活に必要な電気製品へクルマから電力供給できるシステムです。給電機能をお使いいただく際は、必ず各車両の取扱説明書をご確認ください。また電子レンジやポットなど、消費電力の大きな機器を使用する際は、他の機器と同時に使用することは避けてください。また、1500W以下でも電気製品によっては正常に作動しない場合があります。HEV、PHEVの場合、一部地域では駐車または停車中にエンジンを始動させると、条例に触れる可能性がありますのでご注意ください。また駆動用電池の残量減少により、自動的にガソリンエンジンが作動します。車庫内など換気が悪い場所や囲まれた場所(雪が積もった場所)などでは、酸素欠乏や排気ガスの充満、滞留を防ぐため、給排気を可能とする関連装置などを適切に設置して、使用してください。設置できない場合は使用しないでください。

給電機能 設定車

MINIVAN							SEDAN							WAGON			SUV		
																			
対象: ハイブリッド全車	対象: プラグインハイブリッド車	対象: ハイブリッド全車	対象: プラグインハイブリッド車	対象: ハイブリッド全車	対象: ハイブリッド全車	対象: ハイブリッド全車	対象: ハイブリッド車	対象: 燃料電池車	対象: 全車	対象: ハイブリッド全車	対象: プラグインハイブリッド全車	対象: 全車	対象: 全車	対象: 全車	対象: ハイブリッド全車				
設定: 標準装備	設定: 標準装備	設定: 標準装備	設定: 標準装備	設定: 標準装備(S-Z)またはメーカーオプション(S-G, X)	設定: 標準装備(S-Z)またはメーカーオプション(S-G)	設定: メーカーオプション	設定: 標準装備	設定: 標準装備	設定: メーカーオプション	設定: 標準装備	設定: 標準装備	設定: メーカーオプション	設定: 標準装備	設定: 標準装備	設定: 標準装備				

COMPACT														
														
対象: プラグインハイブリッド車	対象: ハイブリッド車	対象: プラグインハイブリッド車	対象: ハイブリッド全車	対象: プラグインハイブリッド全車	対象: ハイブリッド全車	対象: プラグインハイブリッド車	対象: 全車	対象: ハイブリッド全車	対象: ハイブリッド全車	対象: 全車	対象: 全車	対象: 全車	対象: 全車	対象: ハイブリッド全車
設定: 標準装備	設定: 標準装備	設定: 標準装備	設定: 標準装備	設定: 標準装備	設定: メーカーオプション	設定: 標準装備	設定: メーカーオプション	設定: メーカーオプション	設定: メーカーオプション	設定: 標準装備	設定: 標準装備	設定: 標準装備	設定: メーカーオプション	設定: メーカーオプション

●アクセサリコンセント(AC100V・1500W) / 非常時給電システム付 ●AC外部給電システム(ヴィークルパワーコネクタ) ●DC外部給電システム

■ボディカラーは撮影の条件、ご覧になる印刷物または画面によって実際の色とは異なって見えることがあります。

アクセサリコンセント

車内において、AC100Vで消費電力の合計が1500W以下の電気製品を使用できる機能の名称です。車種によって標準装備・メーカーオプションと設定が異なります。

非常時給電システム

災害などによる非常時に電力が必要なとき、車両の走行機能を停止した状態でアクセサリコンセントから給電できる機能の名称です。AC100Vで最大電力の合計が1500W以下の電気製品が使用可能です。車種によって設定の有無が異なります。

AC外部給電システム (ヴェークルパワーコネクター)

普通充電インレットに給電用コネクター(ヴェークルパワーコネクター)を取り付け、外部給電開始操作を行うことで、AC100Vで消費電力の合計が1500W以下の電気製品を使用することができる機能の名称です。

DC外部給電システム

車両の外部給電アウトレットもしくは急速充電インレットに別売りの外部給電器を接続することで、車両から外部へ最大DC9000Wの電力を供給することができる機能の名称です。

EV給電モード

駆動用電池に蓄えられている電力のみを使用して外部給電を行います。バッテリー残量が少なくなると自動で給電を停止します。

HV給電モード

AC外部給電中に電源供給可能な駆動用電池の残量を下回ると、エンジンが作動して給電を継続します。燃料残量警告灯が点灯する程度までガソリン残量が少なくなると、給電を終了します。

V2H

Vehicle to home(クルマから家へ)の略で、車両から取り出した電力を住宅で利用できるようにする考え方・仕組みのことで、

V2H機器

車両のDC(直流)電力を家庭用のAC(交流)電力に変換するための外部給電器のひとつで、住宅に据え付けるタイプのもを指します。

クルマde給電

トヨタホーム(株)の商品名で、V2H機器なしで車両の給電機能(非常時給電システム付アクセサリコンセントまたはAC外部給電システム)のみで住宅に電力供給できる製品です。住宅に専用工事が必要となります。

V2L

Vehicle to load(クルマから電気製品へ)の略で、車両から取り出した電力を電気製品へ供給できるようにする考え方・仕組みのことで、

パワー・ムーバー

車両のDC(直流)電力を家庭用のAC(交流)電力に変換するための外部給電器のひとつで、ニチコン(株)の商品名です。持ち運び可能で、AC100V 1500Wのコンセントを3つ備え最大4500Wの電力を供給可能です。

アイドリングストップ条例

一部の自治体で定められた条例で、信号待ちや渋滞での停車などを除き、駐停車時にはエンジンを切ることを義務づける条例です。HEV、PHEVのエンジンを始動させる給電はこの条例に抵触する可能性があるため使用の際は自治体への確認が必要です。

※条例の有無・内容は自治体ごとに異なります。

Q 1500Wでどれくらい同時に電気製品が使えますか？

A 20Wの照明を使いながら30Wの扇風機を稼働させて、1200WのIH炊飯器でごはんを炊く、といったことが可能になります。電気製品によって消費電力や起電力が異なりますので、利用の際にはご注意ください。

Q 給電機能で何日くらい電気製品が使えますか？

A プリウス(2.0L)の場合、1日あたり10kWh(平均消費電力400W)として試算した場合で約5日間使用可能です。電気製品の消費電力にもよりますが、一般的なスマホの充電なら約4,800台分、800Wの電気ストーブの使用なら約64時間分の電力量になります。その他の車種は車種カタログ等でご確認ください。※プリウス(1.8L)の場合約4.5日。

Q アイドリングストップ条例があるかどうか、どのように確認すればいいですか？

A 関係自治体のHP等でご確認ください。

Q クルマの経年によるバッテリーの消耗で給電出力や給電持続時間は変わりますか？

A バッテリーの経年変化によって、出力が変わることはありません。給電持続時間については、HV給電モードでは、バッテリー容量の変化により多少減少する可能性はありますが、ほとんど変わりません。EV給電モードについては、バッテリーの消耗に伴い、給電持続時間は減少します。

Q 使用電力が1500Wを超えたときどのような状態になりますか？

A 保護機能が作動し、給電機能が停止します。

Q ガソリン残量が少なくなったときのタイミングで給電が停止されますか？その時にアナウンスはありますか？

A AC外部給電システム、非常時給電システムによる給電の場合、燃料残量警告灯が点灯する程度までガソリン残量が少なくなると、給電が停止します。また、AC外部給電システムによる給電の場合、T-Connectにお申込みいただいた方は、給電が停止するとスマホに通知されます。

Q 非常時給電システムおよびアクセサリコンセントを用いた給電時に常にエンジンがかかっていますか？

A HEV、PHEVは非常時給電システムおよびアクセサリコンセントによる給電中に、エンジンが始動・停止を繰り返します。

Q PHEVのHV給電モードの給電可能時間はどのくらいでしょうか？

A プリウス(Z・PHEV)の場合、約5.5日間使用可能です(1日あたり10kWh(平均消費電力400W)として試算した場合)。その他の車種は車種カタログ等でご確認ください。

※ヴェークルパワーコネクター使用時。

Q 各種外部給電システムは後付けできますか？

A 一部KINTO FACTORYにて対応できる車種がございます。対象車種は<https://factory.kinto-jp.com>よりご確認ください。

Q V2H機器とクルマde給電にはどのような違いがありますか？

A V2H機器はDC外部給電システム搭載車種が対応可能です。クルマde給電は、非常時給電システム付アクセサリコンセントもしくはAC外部給電システム搭載車種が対応可能です。V2H機器に比べ供給可能電力が1500Wと小さいですが、幅広い車種が対応しています。(詳細はP.2をご参照ください)

Q V2H機器*1とクルマde給電*2の設置コストを教えてください。

A 一般的な戸建て住宅への設置費用の目安は、DENSO製V2H機器の場合約143万円～(機器+工事)となります。トヨタホームのクルマde給電の場合、約49.5万円～(機器+工事)となります。

※建物などの条件によって費用は異なります。

*1.V2H機器は別売りです。*2.クルマde給電はトヨタホーム製の商品です。

Q V2L機器(パワー・ムーバー*3)の対象車種や接続方法を教えてください。

A 対象車種はDC外部給電システムが搭載されたMIRAI、bZ4Xとなります。V2Lの外部給電コネクターを車両の急速充電インレット(bZ4X)や、外部給電アウトレット(MIRAI)に接続することで使用できます。

*3.パワー・ムーバーはニチコン製の商品です。

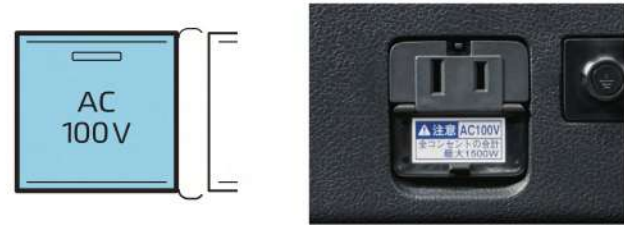
※HEVとHV、PHEVとPHV、BEVとEVはそれぞれ同じものを指しています。

車載の給電装備 (別売の機器が不要)

種類

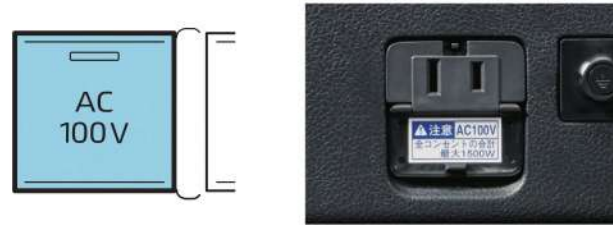
アクセサリコンセント

(AC100V・1500W)



AC100Vスイッチ アクセサリコンセント

非常時給電システム



AC100Vスイッチ アクセサリコンセント

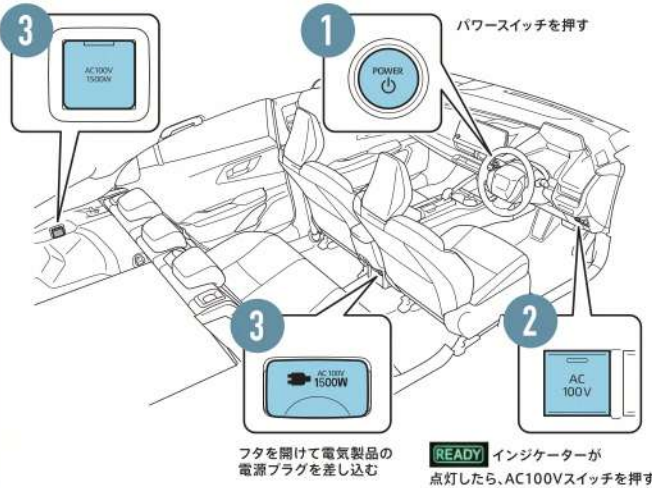
AC外部給電システム(ヴィークルパワーコネクター)



ヴィークルパワーコネクター 普通充電インレット

使い方

プリウスの場合 車種によって場所が異なりますが、同様のスイッチ及びコンセントが存在します。

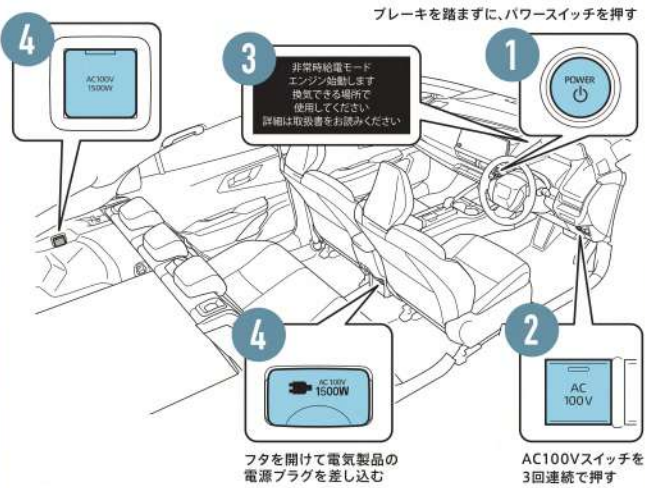


1 パーキングブレーキがかかっていることを確認し、ブレーキをしっかりと踏みながらパワースイッチを押してください。

2 READYインジケーターが点灯したことを確認し、AC100Vスイッチを押してください。作動表示灯が点灯し、使用可能な状態になります。AC100Vスイッチを押すたびに、コンセントのON/OFFが切り替わります。

3 フタを開けて、電気製品の電源プラグをコンセントの奥までしっかり差し込んでください。
アース線のある電気製品を使用するときは、ラゲージルームのコンセントを使用し、市販の変換アダプターを使用してアース線を変換アダプターのアース端子に接続してください。
※ラゲージルーム内のコンセントがない車種もあります。
※接地端子コンセントがない車種もあります。
その場合は、アース線をアース端子に接続してください。

プリウスの場合 車種によって場所が異なりますが、同様のスイッチ及びコンセントが存在します。



1 ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押して、ONにします。(パワースイッチを1回もしくは2回押す*)

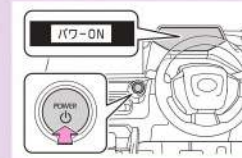
2 READYインジケーターが点灯していないことを確認し、AC100Vスイッチを3回連続で押してください。AC100Vスイッチを押す間隔が1秒以上あかないように、連続して押してください。

3 マルチインフォメーションディスプレイに非常時給電モードの説明が表示されたら起動完了となります。

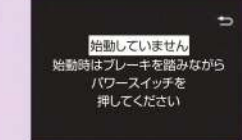
4 フタを開けて、電気製品の電源プラグをコンセントの奥までしっかり差し込んでください。
アース線のある電気製品を使用するときは、ラゲージルームのコンセントを使用し、市販の変換アダプターを使用してアース線を変換アダプターのアース端子に接続してください。
※ラゲージルーム内のコンセントがない車種もあります。
※接地端子コンセントがない車種もあります。
その場合は、アース線をアース端子に接続してください。

プリウス(PHEV) マルチインフォメーションディスプレイでの操作の場合
※マルチメディアディスプレイでの操作も可能です。

1 ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押して、ONにする。(パワースイッチを1回もしくは2回押す*)
※車両および車両の設定により異なります。
メーターに「パワーON」と表示されていることを確認してください。ブレーキペダルを踏んだままパワースイッチを押すと、ハイブリッドシステムが起動してしまい、AC外部給電システムが使用できません。ONにしたあとは、シフトレバーを操作しないでください。シフトポジションがPでないと、AC外部給電システムを使用できません。



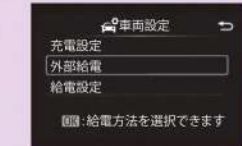
2 始動操作に関するアドバイス画面が表示されたときは、メーター操作スイッチの[]を押して前の画面にもどす。
一定時間、メーター操作スイッチを操作しないと、始動操作に関するアドバイス画面が再表示されます。その場合は、そのつど[]を押して前の画面にもどしてください。



3 メーター操作スイッチの[]または[]を押して[]を選択する。

4 メーター操作スイッチの[]または[]を押して「車両設定」を選択し、[]を押す。

5 メーター操作スイッチの[]または[]を押して「外部給電」を選択し、[]を押す。
外部給電モードの選択画面が表示されます。



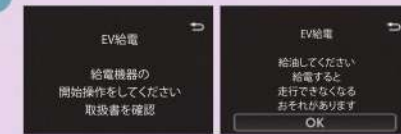
6 メーター操作スイッチの[]または[]を押してご希望の外部給電モードを選択し、[]を押す。

外部給電モードの選択画面上に、各モードでの外部給電可能時間の目安が表示されます。



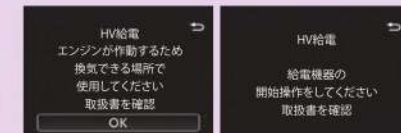
EV給電モードを選択した場合

7 操作ガイド画面の表示に従う。



HV給電モードを選択した場合

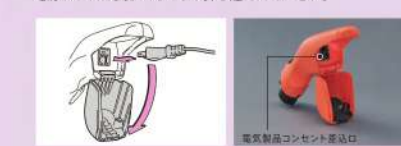
7 使用上の注意に関する画面を確認して[]を押す、操作ガイド画面の表示に従う。



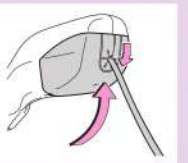
8 ヴィークルパワーコネクターを用意する。
ヴィークルパワーコネクターに異常がないことを確認してください。



9 ヴィークルパワーコネクターの防水カバーを開け、使用する電気製品の電源プラグを車外コンセントに接続する。
電源プラグは奥までしっかり押し込んでください。



10 防水ゴムに電源コードを通し、防水カバーを閉じる。
防水カバーがロックされたことを確認してください。

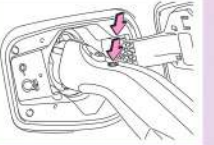


11 充電リッドを開け、ヴィークルパワーコネクターを普通充電インレットに接続する。



12 ヴィークルパワーコネクターの電源スイッチを2回連続で押す。

充電ポートの充電インジケーターが点灯します。電源スイッチを2回連続で押す間隔が3秒以上空いたり、2回よりも多く押し続けた場合は、AC外部給電は開始されません。充電インジケーターは一定時間点滅する場合があります。点滅中はAC外部給電が開始されていないため、点灯にかわるまでお待ちください。



13 充電インジケーターが点灯したら、接続した電気製品の電源をONにする。

AC外部給電中は、マルチインフォメーションディスプレイの表示で、現在の外部給電状況をお知らせします。



■詳しくは、給電マニュアル動画または各車種の取扱書および、外部給電器に付属の取扱説明書をご確認ください。 ■AC100V・1500W未満のアクセサリコンセント付車を除く。 ■工場出荷時の電源周波数は車両によって異なります。車両の取扱説明書を確認し、電気製品の使用可能な周波数と車両の電源周波数が異なる場合は、販売店にご相談ください。

別売の外部給電器が必要

DC外部給電システム

BEV/PHEV



給電イメージ

FCEV



外部給電アウトレット
(ボンネット下コンパートメント内)

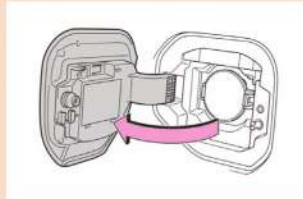
種類

使い方

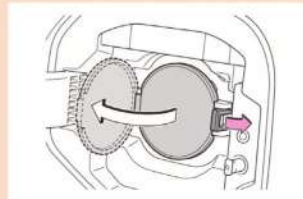
bZ4Xの場合

- 1 車両のドアを解錠して、急速充電リッドを開ける。

急速充電リッド(車両の左側)を開けると、急速充電インレット照明が点灯します。

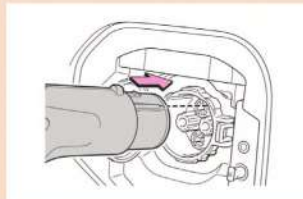


- 2 急速充電インレットキャップを開ける。



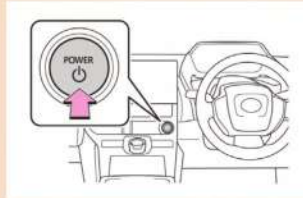
- 3 外部給電コネクタを急速充電インレットに奥まで正しく挿し込む。

外部給電コネクタの形状や取り扱い方法などは、外部給電器により異なります。外部給電器の取扱説明書に従って、作業を行ってください。



- 4 ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押して、ONにする。(パワースイッチを1回もしくは2回押す*)

*車両および車両の設定により異なります。マルチインフォメーションディスプレイに「パワーON」と表示されていることを確認してください。ブレーキペダルを踏んだままパワースイッチを押すと、EVシステムが始動してしまい、DC外部給電システムが使用できません。



マルチインフォメーションディスプレイまたは、マルチメディア画面で外部給電の設定が行えます。

マルチインフォメーションディスプレイでの操作

- 5 マルチインフォメーションディスプレイの画面で、メーター操作スイッチの「または」を押して「車両設定」を選択し、OKを長押しする。

- 6 メーター操作スイッチの「または」を押して「外部給電」を選択し、OKを押す。

外部給電モードの選択画面が表示されます。



- 7 メーター操作スイッチの「または」を押して「EV給電」を選択し、OKを押す。

外部給電モードの選択画面以上に、給電時間の目安が表示されます。駆動用電池の残量が低下しているときは、EV給電モードを選択できません。



- 8 OKを押す。給電待機画面が表示されます。

- 9 外部給電器で開始操作をする。

外部給電器に付属の取扱説明書に従い、操作してください。外部給電器によっては、パワースイッチがOFFになり、給電が停止することがあります。その場合は、再度手順④から開始操作を行ってください。

- 10 接続した電気製品の電源をONにする。

充電インジケータが点滅しているときはDC外部給電が開始されていないため、点灯にかわるまでお待ちください。DC外部給電中は、マルチインフォメーションディスプレイで、現在の給電状況をお知らせします。

マルチメディア画面での操作

- 5 車を押す。

- 6 「外部給電」を押す。

外部給電モードの選択画面が表示されます。



- 7 「EV給電モード」を押す。

外部給電モードの選択画面以上に、給電時間の目安が表示されます。駆動用電池の残量が低下しているときは、EV給電を選択できません。



- 8 操作ガイド画面の表示に従う。

- 9 外部給電器で開始操作をする。

外部給電器に付属の取扱説明書に従い、操作してください。外部給電器によっては、パワースイッチがOFFになり、給電が停止することがあります。その場合は、再度手順④から開始操作を行ってください。

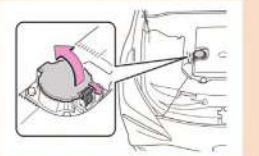
- 10 接続した電気製品の電源をONにする。

充電インジケータが点滅しているときはDC外部給電が開始されていないため、点灯にかわるまでお待ちください。DC外部給電中は、マルチインフォメーションディスプレイで、現在の給電状況をお知らせします。

MIRAIの場合

- 1 ボンネットを開く。

- 2 外部給電アウトレットのキャップを開ける。



- 3 外部給電器の手順に従い、給電コネクタを外部給電アウトレット(ボンネット部)に挿し込む。

外部給電コネクタを挿し込むときに給電ケーブルがボデーに接触してしまうことがあります。ボデーに傷などつかないようにご注意ください。外部給電コネクタの形状や取り扱い方法などは、外部給電器のタイプにより異なります。外部給電器の取扱書に従って、作業を行ってください。



- 4 ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押して、ONにする。(パワースイッチを1回もしくは2回押す*)

*車両および車両の設定により異なります。メインディスプレイに「イグニッションON」と表示されていることを確認してください。ブレーキペダルを踏んだままパワースイッチを押すと、FCシステムが始動してしまい、DC外部給電システムが使用できません。



- 5 外部給電器の手順に従い、外部給電器の給電操作をする。

特定の外部給電器によっては、パワースイッチがOFFになり、給電が停止する場合があります。そのときは、停止から2分以上あけてから、再度②から実施してください。

- 6 マルチインフォメーションディスプレイに表示される使用上の注意に関する画面を確認し、メーター操作スイッチの「OK」を押す。



- 7 マルチインフォメーションディスプレイに給電状態が表示されます。

給電開始まで数秒かかります。外部給電器に接続した電気製品を操作して、使用してください。



■詳しくは、給電マニュアル動画または各車種の取扱書および、外部給電器に付属の取扱説明書をご確認ください。 ■AC100V・1500W未満のアクセサリコンセント付車を除く。 ■工場出荷時の電源周波数は車両によって異なります。車両の取扱説明書を確認し、電気製品の使用可能な周波数と車両の電源周波数が異なる場合は、販売店にご相談ください。

安全にお使いいただく上での注意事項

お守りいただかないと思わぬ事故の原因となり、重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。詳しくは取扱書をご覧ください。詳しくは取扱書をご覧ください。詳しくは取扱書をご覧ください。

アクセサリコンセント／非常時給電システムの場合

【電源コード／配線】

■コンセントに、分岐用コンセントを複数接続しないでください。コードが発熱する可能性があります。異常な発熱を感じたらすぐに使用を中止してください。 ■アース線のある電気製品を使用するときは、アース線をアース端子に接続してください。また、接地極付プラグのある電気製品を使用するときは、市販の変換アダプターを使用してアース線をアース端子に接続してください。

【使用する電気製品】

■使用する電気製品の取扱書の注意事項に従ってください。一般の電気製品の多くは自動車内や屋外での使用は想定されていないため、次のような問題が発生する可能性があります。 ●走行中の振動や、炎天下での駐車時の熱などにより、電気製品が故障する可能性 ●特に外気温が低いときや高いときでは、故障や作動不良になる可能性 ●水平設置が必要な電気製品は、正常に作動しない可能性 ■電源プラグや、電気製品が故障しているときは使用しないでください。 ■防水仕様の電気製品を除き、雨や水のかかる場所、湿気が多い場所では使用しないでください。 ■水没や浸水した、またそのおそれのある電気製品は使用しないでください。 ■車両の状態によっては、一時的に給電機能が停止することがあります。 ■次のような電気製品は、消費電力の合計が1500W以下でも正常に作動しないおそれがあります。 ●起動時の電力が大きい電気製品 ●取扱説明書などに記載されている消費電力よりも大きな供給電力を必要とする電気製品 ●精密なデータ処理をする計測機器 ●きわめて安定した電力供給を必要とする電気製品 ●タイマー設定する機器など、コンセントの出力が連続して必要な電気製品

【使用する電気製品の消費電力】

■合計消費電力は1500W以下でご使用ください。1500Wを超えると保護機能が作動し、給電機能が停止します。 ■消費電力が大きな電気製品(ホットプレートなど)の中には、コンセントを単独で使うことを必須としているものがあります。その場合、他の電気製品と併用しないでください。

【使用する電気製品の作動周波数】

■工場出荷時の電源周波数は車両によって異なります。車両の取扱説明書を確認し、電気製品の使用可能な周波数と車両の電源周波数が異なる場合は、販売店にご相談ください。

非常時給電システムの場合（車外の電気製品と接続してご使用になる場合は次の項目にもご注意ください）

【車両の安全確保】

■車外に電源コードを引き出して使用する場合は、誤って車両を発進させないようにご注意ください。 ●使用中は車両から離れないでください。 ●誤って手を入れないようにボンネットは閉めてください。 ●シフトはPポジションにして、パーキングブレーキを作動させてください。 ●地面が固く平らな場所に駐車し、できれば輪止めを設置してください。 ●スマートエントリー&スタートシステムでドアを施錠することはできません。 ●メカニカルキーでドアを施錠してください。(ワイヤレスリモコンでドアを施錠できる車両もあります。) ■落雷の可能性のある天候のときは給電を行わないでください。給電中、雷に気づいたときは給電を停止してください。 ■HEV、PHEVの場合、一部の自治体では駐車または停車中にエンジンを始動させると、条例に触れる可能性がありますのでご注意ください。

【電源コード／配線】

■コードリールを使う場合、コードが発熱する可能性がありますので、コードはリールからすべて引き出してご使用ください。 ■車外に電源コードを引き出して使用する場合は、雨水の浸入などにご注意ください。コンセントに雨水が付着した場合は、乾燥させてから使用してください。 ■電源コードをドアなどに挟まないようご注意ください。

【換気】

■HEV、PHEVの場合、駆動用電池の残量減少により、自動的にガソリンエンジンが作動する場合があります。車庫内など換気が悪い場所や囲まれた場所(雪が積もった場所)などでは、酸素欠乏や排気ガスの充満、滞留を防ぐため、給排気を可能とする関連装置などを適切に設置して、使用してください。設置できない場合は使用しないでください。 ■FCEVの場合、発電時に酸素を消費します。車庫内など換気が悪い場所や囲まれた場所(雪が積もった場所)などでは、酸素欠乏を防ぐため、給排気を可能とする関連装置などを適切に設置して、使用してください。設置できない場合は使用しないでください。

【外気温が高いとき】

■特に外気温が高いときは、給電機能が作動できないことがあります。その場合は、パワースイッチをOFFにし、外気温が下がってから、はじめから操作をやり直してください。

【外気温が低いとき】

■特に外気温が低いときは、給電機能が作動できないことがあります。その場合は、パワースイッチをOFFにし、外気温が上がってから、はじめから操作をやり直してください。

【エアコンの使用に関する警告】

■非常時給電システムの使用中は、お子さまや介護を必要とする方、ペットを車内に残さないでください。エアコンを使用しているも、システムの自動停止等により室内が高温、または低温になる場合があり、熱中症・脱水症状・低体温症になり、重大な障害に及ぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

AC外部給電システム(ヴェークルパワーコネクター)の場合

【電源コード／配線】

■コードリールを使う場合、コードが発熱する可能性がありますので、コードはリールからすべて引き出してご使用ください。 ■コンセントに、分岐用コンセントを複数接続しないでください。コードが発熱する可能性があります。異常な発熱を感じたらすぐに使用を中止してください。 ■車内のアクセサリコンセントに、使用する意図のない電気製品が接続されていないことを確認してください。AC外部給電を開始したときに、車内のアクセサリコンセントにも電源供給されることにより、それらの電気製品が作動するおそれがあります。 ■ヴェークルパワーコネクターの端子部が濡れないようにしてください。 ■ヴェークルパワーコネクターの車外コンセントに水や液体・雪がかからないようにしてください。 ■ヴェークルパワーコネクターと普通充電インレットは、変換アダプターや延長コードなどを使用せず、必ず直接接続してください。 ■車外コンセントに電源プラグを接続した後は、防水カバーを確実にロックがかかるまで閉じてください。防水カバーがロックできないような大きな電源プラグは使用しないでください。 ■ヴェークルパワーコネクターの上に重量物を置いたり、物を引っかけたりしないでください。

【使用する電気製品】

■使用する電気製品の取扱書の注意事項に従ってください。一般の電気製品の多くは自動車内や屋外での使用は想定されていないため、次のような問題が

発生する可能性があります。 ●特に外気温が低いときや高いときでは、故障や作動不良になる可能性 ●水平設置が必要な電気製品は、正常に作動しない可能性 ■電源プラグや、電気製品が故障しているときは使用しないでください。 ■防水仕様の電気製品を除き、雨や水のかかる場所、湿気が多い場所では使用しないでください。 ■水没や浸水した、またそのおそれのある電気製品は使用しないでください。 ■車両の状態によっては、一時的に給電機能が停止することがあります。 ■次のような電気製品は、消費電力の合計が1500W以下でも正常に作動しないおそれがあります。 ●起動時の電力が大きい電気製品 ●取扱説明書などに記載されている消費電力よりも大きな供給電力を必要とする電気製品 ●精密なデータ処理をする計測機器 ●きわめて安定した電力供給を必要とする電気製品 ●タイマー設定する機器など、コンセントの出力が連続して必要な電気製品

【使用する電気製品の消費電力】

■合計消費電力は1500W以下でご使用ください。1500Wを超えると保護機能が作動し、給電機能が停止します。 ■消費電力が大きな電気製品(ホットプレートなど)の中には、コンセントを単独で使うことを必須としているものがあります。その場合、他の電気製品と併用しないでください。

【使用する電気製品の作動周波数】

■工場出荷時の電源周波数は車両によって異なります。車両の取扱説明書を確認し、電気製品の使用可能な周波数と車両の電源周波数が異なる場合は、販売店にご相談ください。

【車両の安全確保】

■次のことにお守りください。 ●使用中は車両から離れないでください。 ●誤って手を入れないようにボンネットは閉めてください。 ●地面が固く平らな場所に駐車し、できれば輪止めを設置してください。 ●必要に応じて、ドアやヴェークルパワーコネクターを施錠してください。 ■落雷の可能性のある天候のときは給電を行わないでください。給電中、雷に気づいたときは給電を停止してください。 ■HV 給電モードの場合、一部の自治体では駐車または停車中にエンジンを始動させると、条例に触れる可能性がありますのでご注意ください。

【換気】

■HV給電モードの場合、駆動用電池の残量減少により、自動的にガソリンエンジンが作動する場合があります。車庫内など換気が悪い場所や囲まれた場所(雪が積もった場所)などでは、酸素欠乏や排気ガスの充満、滞留を防ぐため、給排気を可能とする関連装置などを適切に設置して、使用してください。設置できない場合は使用しないでください。

【外気温が高いとき】

■特に外気温が高いときは、給電機能が作動できないことがあります。その場合は、パワースイッチをOFFにし、外気温が下がってから、はじめから操作をやり直してください。

【外気温が低いとき】

■特に外気温が低いときは、給電機能が作動できないことがあります。その場合は、パワースイッチをOFFにし、外気温が上がってから、はじめから操作をやり直してください。

【エアコンの使用に関する警告】

■AC外部給電システムの使用中は、お子さまや介護を必要とする方、ペットを車内に残さないでください。エアコンを使用しているも、システムの自動停止等により室内が高温、または低温になる場合があり、熱中症・脱水症状・低体温症になり、重大な障害に及ぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

DC外部給電システムの場合

以下はBEVの場合の注意事項になります。(FCEV/PHEVの場合は一部異なる注意事項がございます。詳しくは車両に付属の取扱書をご確認ください。)

【DC外部給電システムの使用中は】

■シフトポジションをPからほかのシフトポジションに切りかえることはできません。 ■外部給電器の出力上限以上の電力を使用した場合、外部給電器が出力を制限したり、給電を停止したりすることがあります。 ■車両側の定格出力以上の電力を使用した場合、車両が給電を停止することがあります。 ■スマートエントリー&スタートシステムでドアを解錠・施錠することはできません。 ■ワイヤレスリモコンでドアの解錠・施錠をすることができます。使用する電気製品から発生するノイズにより、正常に作動しない場合があります。(メカニカルキーでもドアを解錠・施錠することができます。) ■ドアの開閉などにより、ブザーが鳴ったり、マルチインフォメーションディスプレイに「キーが見つかりません キーの所在を確認してください」と表示されたりすることがあります。 ■気温が低いときまたは高いときは、出力を制限または停止することがありますが、異常ではありません。その場合は、使用する電気製品を減らしてください。 ■走行中はDC外部給電システムを使用できません。 ■使用する電気製品によっては、周囲のテレビやラジオに雑音が入ることがあります。 ■炎天下など、車内が高温になる状態で使用すると、システムを保護するためにDC外部給電システムが自動で停止することがあります。その場合は、いったん外部給電コネクターを取りはずしてから、車両を日陰に移動するなどして車内の温度を下げ、再度、DC外部給電を開始してください。 ■特に外気温が低いときは、駆動用電池を保護するため、DC外部給電システムを使用できないことがあります。その場合は、いったん外部給電コネクターを取りはずしてからしばらく走行するなどして、駆動用電池を暖めてから使用してください。 ■外部給電器に車両に異常があるようなメッセージ(例えば、「車両に異常が見つかりました」、「車両故障発生」など)が表示されても、車両の異常ではなく、外部給電器と車両間の通信異常である可能性があります。この場合、外部給電コネクターの端子故障(接点不良)などが考えられます。外部給電器に付属の取扱説明書を確認してください。

【DC外部給電システムを使用する時の警告】

■傾いた場所や坂道などに止めて使用しないでください。使用中に車両を移動させたり、傾けたりしないでください。 ■誤って手を入れないようにボンネットは閉めてください。 ■可燃物や危険物を車両の近くに置かないでください。 ■給電を開始する前に、接続した電気製品の電源がOFFになっていることを確認してください。電源がONになっていると、電気製品が突然作動するおそれがあります。 ■車両をカーカバーなどで覆った状態で使用しないでください。 ■お子さまなど、不慣れな方だけで作業を行わないでください。 ■外部給電コネクターと急速充電インレットは、必ず直接接続してください。外部給電コネクターと急速充電インレットとのあいだに、変換アダプターや延長コードなどを接続しないでください。 ■落雷の可能性のある天候のときはDC外部給電システムを使用しないでください。使用中、雷に気づいたときはDC外部給電システムを停止してください。 ■外部給電コネクター・急速充電インレットに異物がないか、または雪・氷が付着していないか確認してください。付着している場合は、外部給電コネクターを接続する前にしっかりと取り除いてください。 ■外部給電コネクター・急速充電インレットの端子に金属製の鋭利なもの(ピンや針金など)を挿し込まないでください。

アクセサリコンセント／非常時給電システム／AC外部給電システム／DC外部給電システムがおよぼす影響について

■植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は、次のことを必ずお守りください。医療用電気機器の作動に影響を与えるおそれがあります。 ●給電中は車内にとどまらない ●給電中は車内・外部給電器・ヴェークルパワーコネクター・ケーブルから十分に距離をあけ近づかない